



2020年度 児童発達支援 自己評価 集計結果

公表日: 令和2年12月10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		療育ブースを1カ所増設した。	入れ替わりの時間のインターバルを設ける。
	2 職員の配置数は適切であるか	✓		曜日によって差はあるがフリースタッフがつけるよう配置している。	スタッフの動きを各スタッフが把握するよう心がける。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		✓	視覚補助カードを用いて手続き等がスムーズに行えるよう配慮している。	通路が狭く危ないところがある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		✓	清潔で過ごせやすい環境整備を心掛けている。	休憩・余暇エリアの確保ができるとう良い。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓		業務前の打ち合わせ、業務の振り返りと共有を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		毎年、保護者等向け評価を実施し、改善につなげている。	報告の時間が取れない面を記録で補うようにする。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		ホームページにて公表している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓		スーパーバイザー(臨床心理士)に指導及び評価を受け、療育面での業務改善に活かしている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		各事業所に於て少数でスーパーバイズ研修を行っている。	今年度はコロナの影響であまり取れていない。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	✓		年二回の個人面談や日々の保護者とのやり取りの中でニーズ等の聞き取りをしている。	
	11 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		利用開始時に標準化されたアセスメントツールを用い、聞き取りしている。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	✓		ガイドラインで示されている支援内容から適切な項目が選択され、具体的な支援内容が設定されている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓		個別支援計画を元を実施している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		グループ活動のプログラム立案をチームで行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		季節に合わせた取り組みや利用者の意向に合わせた内容を取り入れている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	✓		グループの希望者には意向をくみ計画している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		✓	朝の打ち合わせとして行っている。	始業前など早く来られる利用者もいて難しいこともある。打合せノートの活用。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓		毎日の振り返りで共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		毎回記録を記入し、評価・改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		年2回のモニタリングを行ったうえで個人面談を実施、個別支援計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		療育担当スタッフ、児発管、管理者などが出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓		必要に応じて保健センターやその他の関係機関と連携を取っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		✓	法人内では医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもが通所しており、看護師も同席している。	対象者なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか		✓	法人内では医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもが通所しており、看護師も同席している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		✓	保護者を通しての情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		✓	保護者を通しての情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		✓	定期的な連絡会に参加し、連携を図っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓		法人主催のイベントなどの機会で行っている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓		自立支援協議会に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		毎回療育内容の記録をお渡ししている。その他、必要に応じて情報を共有している。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		✓	必要に応じて相談を受けている。	ペアレントトレーニングの研修等への参加機会を増やしていきたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		契約時及び更新時に書面にて十分に説明をしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓		年2回モニタリングを行ったうえで個人面談を実施。見直しを行った個別支援計画を保護者に提出し同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		年2回の個別面談や電話・メールでの相談にも応じている。スーパーバイザー(臨床心理士)による相談窓口も開いている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		今年度はコロナ禍で実施していないが、懇談会と茶話会を年2回ずつ開催している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		苦情・相談受付窓口の掲示と意見箱を設置。対応体制を整備し、迅速かつ適切に対応できるようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		メールリストにて発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓		写真等の利用範囲についても毎年書面にて確認している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		ケースや状況に応じてイラストカードやスケジュール表を使用。電話、メールなど利用者に合わせて伝達方法を変えている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		法人主催のイベントなどで地域の方への参加を募っている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓		ファイルを入口に置き、周知できるようにしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		年に1回以上の避難訓練を行っている。	利用者も参加できる形で行っていきたい。
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	✓		初回面談時に確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		初回面談時に確認している。 おやつファイルに掲示するようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		事業所内に事故対応手順を掲示している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		ガイドラインの配布。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	✓		安全を守るためやむを得ず身体拘束を行う以外は行っていない。契約書に明記し、説明をしている。	個別支援計画に記載はしていない。



2020年度 放課後等デイサービス 自己評価 集計結果

公表日: 令和2年12月10日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
体 環 境 ・ 備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		✓		療育ブースを一か所増設した。	入れ替わりの時間のインターバルを設ける。
	2 職員の配置数は適切であるか	✓			曜日によって差はあるがフリースタッフがつけるよう配置している。	スタッフの動きを各スタッフが把握するよう心がける。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		✓		清潔で過ごしやすい環境整備を心掛けている。	通路が狭く危ないところがある。
業 務 改 善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			業務前の打ち合わせ、業務の振り返りと共有を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			毎年、保護者等向け評価を実施し、改善につなげている。	報告の時間が取れない面を記録で補うようにする。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			ホームページにて公表している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓			スーパーバイザー(臨床心理士)に指導及び評価を受け、療育面での業務改善に活かしている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			各事業所にて少数でスーパーバイズ研修を行っている。	今年度はコロナの影響であまり取れていない。
適 切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			年二回の個人面談や日々の保護者とのやり取りの中でニーズ等の聞き取りをしている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			利用開始時に標準化されたアセスメントツールを用い、聞き取りしている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか		✓		グループ活動のプログラム立案をチームで行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			季節に合わせた取り組みや利用者の意向に合わせた内容を取り入れている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			グループの希望者には意向をくみ計画している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			希望に沿って個別とグループ療育を行っている。	
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		✓		朝の打ち合わせとして行っている。	始業前など早く来られる利用者もいて難しいこともある。打合せノートの活用。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			毎日の振り返りで共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			毎回記録を記入し、評価・改善につなげている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			年2回のモニタリングを行ったうえで個人面談を実施、個別支援計画を作成している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		✓		ガイドラインに則した活動を組み合わせた支援の実施	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			療育担当スタッフ、児発管、管理者などが出席している。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		✓		事業所連絡会への参加。その他、保護者からのヒアリングやホームページにて情報を得ている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			✓	法人内では医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもが通所しており、看護師も同席している。	対象者なし。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			✓	保護者を通して一部行っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		✓		要望があれば実施している。	学校が主となり行っている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			✓	定期的な連絡会に参加し、連携している。	研修の回覧を行い、参加者を募る。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓			法人主催のイベントなどの機会で行っている。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			自立支援協議会に参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			毎回療育内容の記録をお渡ししている。その他、必要に応じて情報を共有している。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			✓	必要に応じて相談を受けている。	ペアレントトレーニングの研修等への参加機会を増やしていきたい。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約時及び更新時に書面にて十分に説明をしている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			年2回の個別面談や電話・メールでの相談にも応じている。スーパーバイザー（臨床心理士）による相談窓口も開いている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			今年度はコロナ禍で実施していないが、懇談会と茶話会を年2回ずつ開催している。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			苦情・相談受付窓口の掲示と意見箱を設置。対応体制を整備し、迅速かつ適切に対応できるようにしている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			メーリングリスト等で配信している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	✓			写真等の利用範囲についても毎年書面にて確認している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			ケースや状況に応じてイラストカードやスケジュール表を使用。電話、メールなど利用者に合わせて伝達方法を変えている。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			法人主催のイベントなどで地域の方への参加を募っている。		
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			ファイルを入口に置き、周知できるようにしている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年に1回以上の避難訓練を行っている。	利用者も参加できる形で行ってきたい。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			ガイドラインの配布。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			安全を守るためやむを得ず身体拘束を行う以外は行っていない。契約書に明記し、説明をしている。	個別支援計画に記載はしていない。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			初回面談時に確認している。 おやつファイルに掲示するようにしている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			事業所内に事故対応手順を掲示している。	